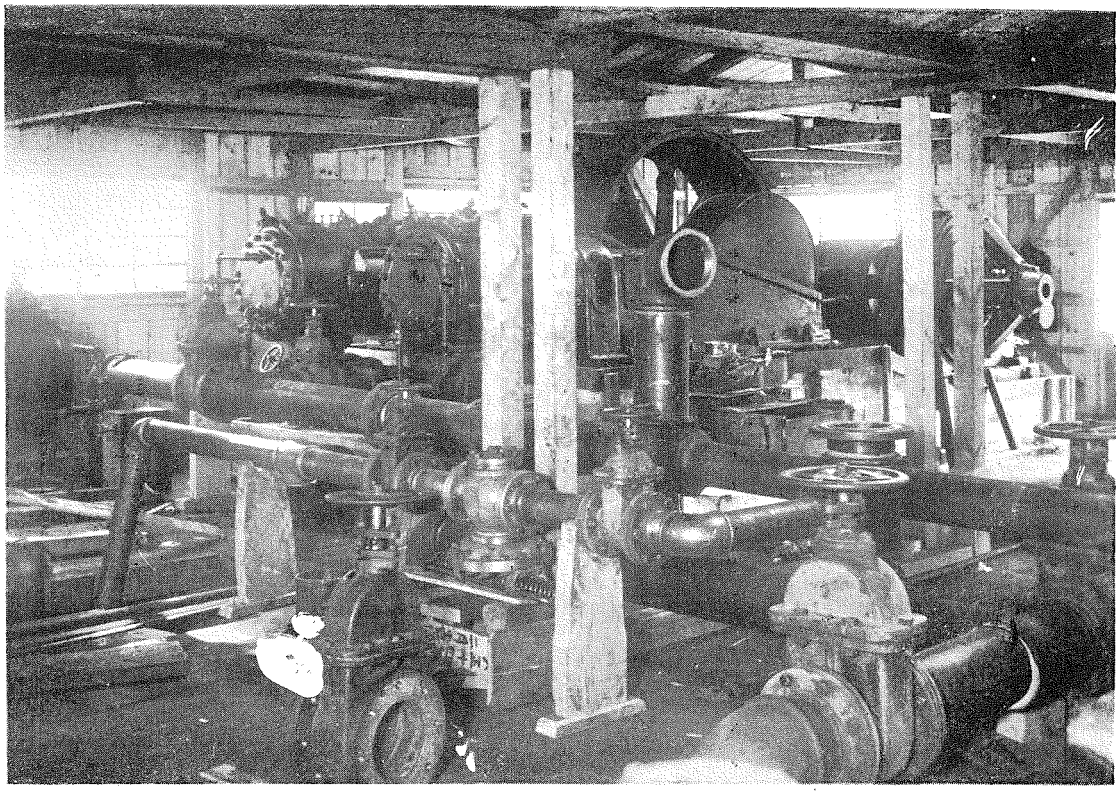


(7) 200 H. P. Worthington Duplex Low-Pressure Compressor, Yeitai Bridge, Tokyo.

(7) 永代橋潛函工事用空氣壓搾機

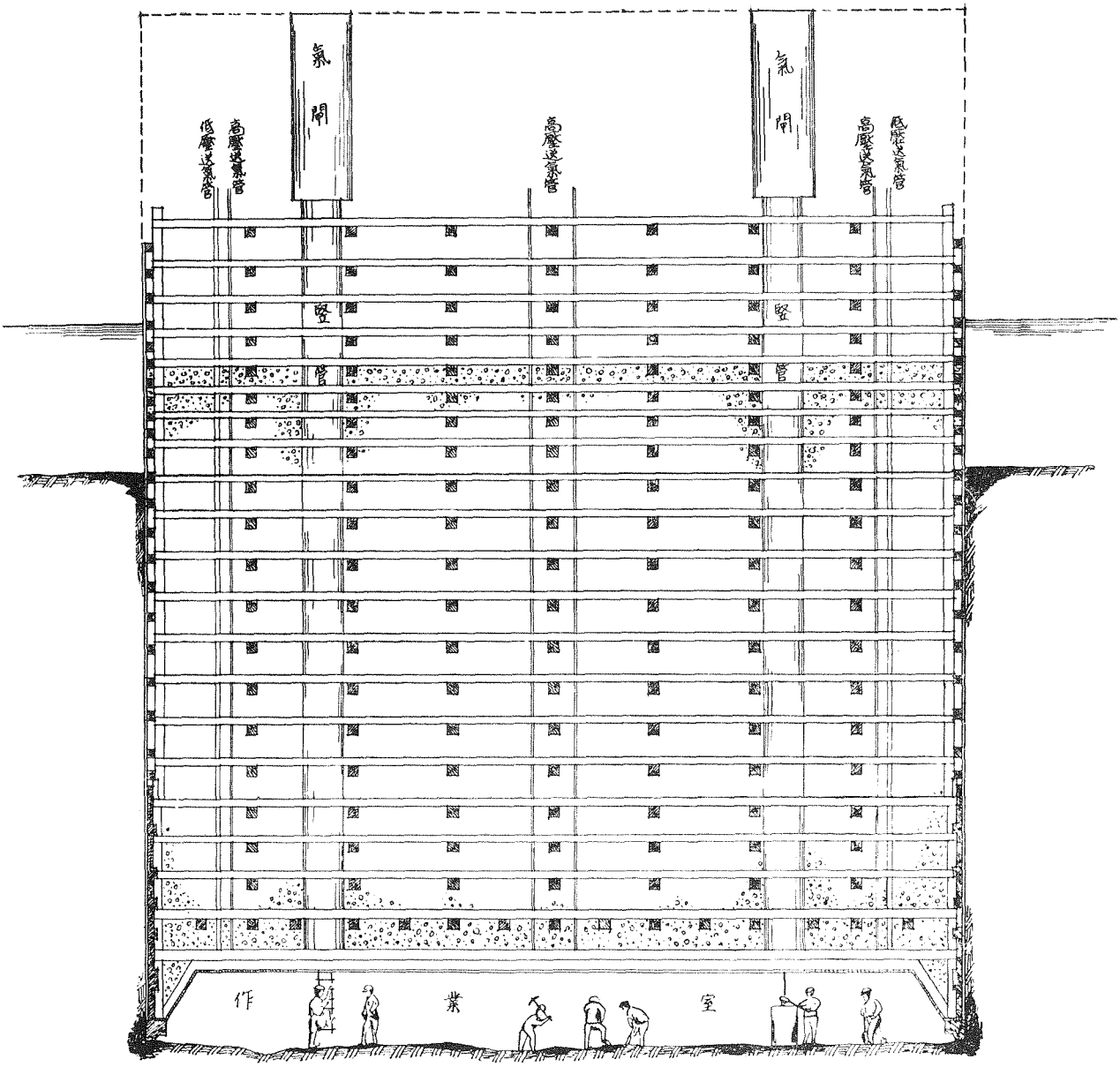
空氣壓搾機の設備

低壓用　200HP(200V)2臺 容量 1.300立方呎每分
高壓用　75HP(〃)1臺 容量　300立方呎每分

以上を二隻の浮舟を連結したる上に乘せ上家をかけ、本圖にては低壓用コンプレツサー 1臺のみが現はれてゐる。圖中の鐵管はすべて空氣送入管にして、最も太き鐵管はコンプレツサーよりレシーバーに至る鐵管にして徑 8吋なり。8吋鐵管に沿へる鐵管は徑 4吋にして、高壓用鐵管なり。鐵管の途中にレヂーシング、ヴアルブを附し、低壓に補ふ裝置をなす。

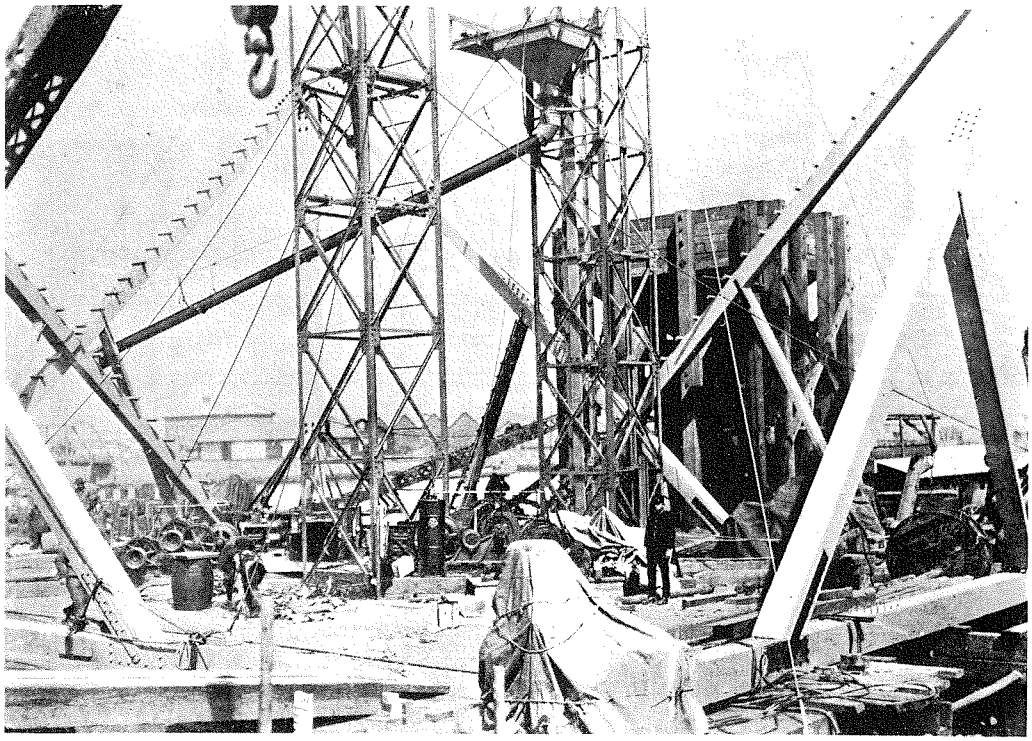
掘鑿作業の程度

尙潛函內に入り得る人員は二十名位で、その掘鑿作業の速度は、一バケツトに付き、二分乃至三分間位、そしてその外部作業——つまり潛函內で土を滿たしたバケツトを引き上げて空のバケツトを交換する作業が三分乃至五分位はかゝるさうである。而して潛函內の作業の最速記錄は、七時間強に對する 214 バケツト、即ち一バケツトの作業時間が約二分と云ふ良好なレコードを出してゐる。今後も全設備が順調に活動すれば恐らく此のレコードを繼續される事と思はれる。



(8) 潛函作業の斷面圖

(8) Sectional Sketch of Caisson,Yeitai Bridge.



(9) Lakewood Towers and Mundy Hoists, Yeitai Bridge. Tokyo.

(9) 永代橋潜函工事用混凝土設備

混凝土工事設備

圖の後方に見ゆるは混合機用ホツパー（漏斗）にして、中には砂利、砂を入れてある。之よりMeasuring Box(計量用函)を經て、混合機に材料を入れる。混合機に用ふ電動機は25馬力。捲揚機には75馬力を用ゆる。塔ノ高サ70呎、一個、50呎、1個バケツトの大サ 27才入り、混凝土設備はすべてLakewood Engineering Company 製のものを用ふ。

作業の壯觀

現在の永代橋も電車や自働車、其他人馬の交通頻繁なるに、其片側で成さるる此の潜函工事は實に都人の注意を惹くものである。潜函の上部は高く其巨軀を水上に現はし、コンクリート塔やビンも空高く聳え、其間に三臺のデリツク、クレーンが絶えず左右、上下に活動してをる。コンプレツサーの音、潜函を繼足す大工仕事の音、車馬交通の雜音と相和して騒然たるものである。